

高品質米生産のための栽培ポイント!!

1 田植え(播種)時期の調整

平坦部では、5月連休植え(4月15日頃までの播種)をすると平年の気象でも7月下旬に出穂してきます。高温にもっとも弱い登熟初期が1年で一番暑い時期と重なり、品質低下の要因となります。地域で水利の調整等を行い、田植えはできるだけ5月15日以降にしましょう。

2 適切な水管理

・活着期(移植直後～移植後7日)

移植後活着するまでは、強風等による障害を防ぐため、5～6cmの深水に管理し、活着を促すために葉面からの蒸散を少なくしましょう。稲の葉先が水面から出ていれば問題はないといわれますが、2葉の葉身が水につからないようにすると、活着が良いでしょう。活着の良否がその後の生育への影響が大きいことから、深水で高水温に保ち、昼夜の温度差を少なくしましょう。

3 施肥量の調整

コシヒカリでは、生育過剰とならないよう、土壌条件に合わせて施肥量を調整しましょう。例年、条間が見通せないほ場や、いもち病の多いところでは、元肥量を加減しましょう。多すぎると、品質低下や倒伏の原因となるので、元肥量を少なくして追肥で調整するほうが安全です。

みえのゆめでは、肥料きれを起こすとごま葉枯病が発生する恐れがありますので、元肥量を多くするか、つなぎ肥を投入しましょう。

○元肥の基準値(例)

		(施用量:10a当り)				
区分	肥料名	成分	全層	側条		
元肥	化成肥料10-16-16	10-16-16	25kg	20kg		
	化成肥料12-18-14	12-18-14	25kg	20kg		
	堆肥三米	12-14-12	25kg	20kg		
元肥一発	セラコートR822	18-12-12	—	35kg		
※堆肥施用田は元肥の施用量を調整して下さい。						
		(施用量:10a当り)				
区分	肥料名	成分	全層	側条		
元肥	化成肥料14-14-14	14-14-14	50kg	40kg		
	堆肥三米	12-14-12	60kg	50kg		
元肥一発	セラコートR2500	25-10-10	—	40kg		
		(施用量:10a当り)				
区分	肥料名	成分	全層	側条		
元肥	化成肥料14-14-14	14-14-14	35kg	30kg		
	堆肥三米	12-14-12	40kg	35kg		
元肥一発	セラコートR822	18-12-12	—	35kg		

○水稲箱施用剤を使用するときは除草剤と間違えないよう注意しましょう!!

水稲箱施用剤と除草剤を区別できる様目印をつけるなどの対策が効果的です!

■水稲箱施用剤一覧

殺虫殺菌剤	殺虫剤
ツインターボ箱粒剤08	バリアード箱粒剤
ルーチンアドスピノ箱粒剤	
エバーゴルフフォルテ箱粒剤	
ジャッジ箱粒剤	
デジタルコラトップアクタラ箱粒剤	

○水田用除草剤や本田粒剤の散布後7日間は落水やかけ流しをしない!!

水田での除草剤や粒剤を散布した後は、農薬が土壌などに落ち着くまでの7日間は、田面水を圃場外に出さない水管理を徹底してください。

7日間の止水管理は、農薬の効果を十分発揮させるとともに、周辺環境の保全に繋がります。

令和2年産米最終集荷日のお知らせ

平素は、伊賀米の生産振興に格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

J Aでは、「伊賀米」産地として、実需者への年間を通じた販売計画により有利販売に取り組んでいますが、4月の集荷日をもって令和2年産米の集荷を終了させていただきます。

品質低下となるまでに今一度、自家消費分の見直しをして頂きますようお願いいたします。

尚、伊賀米定義のお米と特別栽培米の集荷もさせていただきますが、加算金と精算金はつきませんのでご了承ください。

集荷日 4月15日(木)～22日(木) ※土・日を除く

検査日 4月23日(金)

令和2年産米概算金 30kg/袋・円・税込み・包装代込み

品 種	1 等	2 等	3 等
コシヒカリ	6,300	6,050	4,350
みえのゆめ	5,600	5,350	
キヌヒカリ	5,600	5,350	
みえのえみ	5,450	5,200	4,150
その他品種	4,900	4,650	

※ 集荷場所・時間については、最寄りのふれあい店・グリーンショップ又は営農経済センターへご連絡下さい。

※ 上記集荷日の都合が悪い方は最寄りのふれあい店・グリーンショップ又は営農経済センターへ集荷対応をご相談下さい。

JAからのお知らせ(お願い)

令和3年産米出荷契約書の提出をされていない方は、最寄りのふれあい店・グリーンショップまですみやかに提出頂きます様お願い致します。

特A評価奪還を目指して!

良食味米のポイント

- 土づくり(地力の増強は良食味米の第一歩!)
- 肥培管理の徹底(青空教室等を通じて適期適肥を心掛けましょう!)
- 適期刈り取りによる品質低下の防止(胴割粒の軽減)
- 乾燥調製(適切な水分やロールの間隔調整を心掛け、高温時の粘りけはしない様にしましょう!)